



表紙

小林英樹 《DEEDS of COLORS》1987年作（100号Mサイズ）

表紙絵解説

神戸から札幌に移り住んだ年、札幌大同ギャラリーで発表した作品。何を描いたらよいかわからない、だが、何か描きたくてしょうがない、具体的な世界がなくても描きたいという衝動と意欲があればそこにそのときの自分を反映した何かが生まれるはずだ。そう信じ、ぼくはキャンヴァスに合成樹脂の絵具を落としたり振り掛けたりし、流動的な溶剤が作り出していくフォルムを見守りながら、半ば自動的に次なる行為を続けていった。絵具の作り出す表情に任せて結果的に予想もしなかった図像が次々に現われたが、どの作品にも期せずして関わった制作者の内なる世界が反映していた。歓喜の飛翔のようにも見えないこともない作品、今年度で退職される増山賢治さん、長いことご苦勞様、ありがとうございました。

小林英樹